



いばらきダイバーシティ宣言

急速な人口減少社会の進展や少子高齢化、経済・社会のグローバル化の進行など、社会情勢は大きく変化しております。

このような中、活力があり、持続可能な地域社会をつくるためには、多様な人材の活用により、ニーズの変化や急激な環境の変化などのリスクへの対応力を高めることが重要であると考えます。

その実現のためには、年齢や性別、国籍、障がいの有無、性的指向・性自認等にかかわらず、一人ひとりが尊重され、誰もが個々の能力を発揮できる社会、多様性が受容されるダイバーシティ社会の実現が求められています。

私たちは、ダイバーシティ社会の実現に向けて次のことに取り組むことをここに宣言します。

私たち茨城県保育協議会は、県内保育所・認定子ども園で構成される団体です。保育園の運営主体は、社会福祉法人、市町村、学校法人、株式会社、宗教法人と多様性に富み、受け入れている子どもたちも、アメリカ、イギリス、ブラジル、中国、フィリピン、ベトナム、インド等、多国籍に亘っています。このような背景のなか、

- 1、国籍、性別、障害、性指向、性自認、文化、宗教、思想信条、家庭環境等、様々な背景をもつ子どもたちがともに遊び、ともに学び、個々の可能性が活かされ、互いに尊重し合える保育環境を作り、子どもたちの育成に努めます。
- 2、働く保育従事者誰もが尊重され、個々の能力を十分に発揮し、笑顔で従事し、保護者も安心して働き、預けられる職場環境を目指します。

令和3年7月2日

茨城県保育協議会

会長 工藤 義人